

# 第 60 回定期総会議事録 2022 年 3 月 13 日 10 時～16 時大阪国労会館

(氏名：敬称略)

高橋事務局長から開会宣言と議長書記の任命提案

総会役員 議長（こもれび；佐々木、きたろう；高桑）書記（常任・大見）

資格審査委員（西淀：大西）（テルル：戸田） 常任（澤村）

選挙管理委員（吹田：佐伯）（安治川：入澤） 常任（佐藤）

議事運営委員（OWCC：百江）（つりばし：下窪） 常任（大西）

## ■議事録詳細

### (1)会長及び来賓挨拶

- ・園会長あいさつ：この 1 年に亡くなった会員に黙祷。

いま皆さんが危惧しているのはロシアによる侵略戦争です。世界中の人びとが戦争反対の声を上げています。登山には平和が重要としている労山としては戦争反対の声を上げて行こうでは無いでしょうか？

コロナ禍で各会、連盟の行事が少しずつ復活している。

大阪労山では事故の件数が減っている一方、一般の方の山の事故が増えている。一方、大阪労山の会員が減少しており 1000 人を切るのは時間の問題。事故を減らすためにも仲間を増やす取り組みをしていこう。

- ・高橋理事長から手話通訳者の紹介と議長と書記の提案と承認
- ・議長あいさつ 討論の時間を増やしたので活発な議論を
- ・総会役員選出 佐藤常任から提案、資格審査委員等は集合して打合せ。
- ・中井副理事長から 祝電メッセージの読み上げ。

全国：2 月に全国総会実施。パンデミックによる先行き不透明、ロシアによる戦争、核戦争の危機が懸念される。会員減少しているがアウトドア活動は活発になっており、ニーズを捉え会員を増やしている会もある。

兵庫：高齢化、後継者不足など会員減少が続いている。大阪労山は近畿を代表して各種問題取り組むことを期待する

- ・資格審査委員会 代議員 64 名中 35 委任状 Zoom2 名 26 名出席 63 名の出席となり、本総会は成立していることを説明
- ・佐藤常任から 新年度役員の上候補受付を説明。

### (3)議案説明

1 号議案（状況・活動方針）高橋理事長：コロナ禍で活動が制限されるなか、継続できた活動もあった。多くの会で会活動ができず個人山行となっているなか、会員数を増やす会もあった。名刺を作って配る、HP やブログを更新して会員数を増やしている。一方、

毎年単年度赤字、このままでは1000人を切る状況、午後からこの点を議論していきたい。  
佐々木さんからメッセージを頂いた。山にはコロナはいない。萎縮せず会活動を進めていくべきでは無いか。

- ・組織部（濱田常任）

会活動が低下し、84人の減少となった。増の会はHPやブログの継続、公開山行、登山学校も入会につながる。減や脱退となった会は、会員の高齢化、山行の中止、介護などで減らしている。2つの会が脱会している。

組織部は、年3回事務所、リモート3回実施。

会報作りのアンケートを実施。WEB掲載など費用の削減などの取り組みなど。会員増の会は紙での発行も。

2022年の取り組みは、会員拡大よりも減少を減らす取り組みも行う。会の魅力、ニーズの取りこみなど。

- ・ハイキングセミナー（佐藤常任）

感染の動向を見ながら再開していきたい

- ・こどもの冒険学校（大見常任）

今年はクライミングに初めて取り組んだ。またスタッフ向けにビレイ講習会を実施した。来年は講習会をシニア向けに広げる。

- ・女性委員会（近藤常任）

女性のための登山学校は2年中止したが、2022年度は実施予定。

冒険学校に参加。ビレイ認定者も出てきた。山筋GOGO講習会 35名参加で実施できた。

近畿ブロック女性委員会50周年記念冊子も完成できた。

ロープワークなどスキルアップ研修も開催でき、新年度も継続する。

- ・機関誌部（大西常任）

冊子数継続

- ・自然保護委員会（澤村常任）

環境省の生き物ログに日本勤労者山岳連盟自然保護委員会の名で登録。

クリーンハイクは大阪労山としては中止したが、6、7くらいの会は独自に実施。

新年度は6月5日に予定している。

新年度の取り組みとして 岩場のトイレブースの設置を呼びかける。

- ・障がい者登山（澤村常任）  
来期の再開を目指す。皆さんの参加を呼びかけます。
- ・障登 PT（山下常任）  
2018 年から活動をしている。  
コロナで活動も制限されているが、手話で学ぶ登山入門コース、座学 4 回実技 1 回 計 5 回開催できた。座学は youtube ライブなど利用し、参加者は延べ 33 名であった。労山外からも参加しており、何人かの人に「たつのこ」に入会した。  
聴覚障がい者向けの事故事例集勉強会は来期に延期。  
2 月 6 日に雪山登山技術の実技研修を行った。  
来期も手話で学ぶ登山入門コースをリモート含めたハイブリッド方式で実施する。
- ・長距離縦走委員会（木村氏）  
2 年実施できていない。来期は 6 月に次項委員会を開催し、10 月第 3 週に開催予定。
- ・平和と登山（大西常任）  
戦跡ハイクと平和行進を 1 回ずつ開催できた。
- ・教育遭難対策部（大見常任）  
今年の総括として、できたこと○ できていないこと×で表に示した。人手不足の中、取り組みが多くできていないことも多かった。新年度は、やるべき事を絞って取り組む。特に事故事例集の取り組みは、他県連からも反応があり、下りでの事故防止など引き続き進めていく。また教育システムの再構築も取り組んでいきたい。  
やぐらの所管に関しては引き続き調査を進める。
- ・救助隊（松本隊長）  
2021 年度 訓練はほとんど中止。新年度は 自主訓練、ファーストエイド力の習得、外部講習の活用に重点を置く。特にファーストエイドは各会にも取り組んで戴きたい。  
山岳会の活性化には教育に重点を置くのが良いと考える。その為にもファーストエイドの研修会に参加して欲しい。

## 2 号議案

専門部活動費が少なかったため、繰り越し金は減っていない

遭難対策特別会計 決算予算の差分は利率の低下

監査報告（横田 会計監査役）：適正に処理が成されていることを報告

### 3号議案

家賃の値引きを了解してもらった。

25万円の赤字で、繰越金はその分減少する。

遭難対策特別会計 今年度から遭難対策にも活用していく。1人120円/年も徴収しない。

午後12:45 再開

- ・資格審査委員から 午後1人委任状に変更 63人の出席
- ・選挙管理委員から 立候補はいなかった

#### (4)質疑および提案

Q 淀屋橋（濱崎氏）：個人賠償保険について説明をお願いしたい

A ALBA(木村氏)：主催者が入る賠償保険。事故が起きたときに法的に訴えられた時に使うモノ。元々全国労山がやっていたが、無くなった。その代わりになるものである。以前；一般参加者や登山学校生徒 本保険はスタッフも含めたモノになっている。

Q 泉州（河本氏）：コロナ禍で会員増をした会のご意見を伺いたい。

A 八尾（中路氏）：名刺を配ったりHPを改定したりして、4名増加できた。

地道に例会継続、会誌発行、山行を行った。八尾市の連絡会、信貴山で道迷いの方に名刺をわたして入ってもらった。HPを見て入ってきた。山行中に声を掛けた人も入ってきた。高齢者に向けた低い山の山行も企画している。

A テルル（戸田氏）：年に4回公開山行をしていたが、コロナ禍でできていない。

会山行はいま中止しているが、個人山行に関しては、会は制限していないので活動は継続してHPで公開している。活動報告をブログに個人個人で上げている。常に更新しているから目にとまるのでは。

A きたろう（高桑氏）：高齢化が進むが、公開山行ができて無く新規入会に結びつかない。

HP見て入ってくれる人はいる。コロナ禍で活動が制限されているのが寂しい。

A たつのこ（山下氏）：障登PTの活動を通じて入会してくれる人がいた。山の知識を得たというニーズを捉えることができた。

A こもれび（佐々木氏）：池田、箕面で障がい者のかたと登山をしてきた。この2年はできていない。障がい者向けの登山を再開したい。

A 濱田常任：HPを更新したら人は来る。大阪は会活動を中止している会が多く、会員が増えないのでは。教育山行をやったら人は来るが、リーダーもいなくできない会がある。教育山行もできない。各会の問題を話して欲しい。2つの会で連合して教育するとか、教育遭難対策部と連携してやっていきたい。

Q 濱田常任：機関誌は各会でどの様に周知しているのか？

- A 淀屋橋 (濱崎氏) : 会員にメールで周知している。印刷されても取りに行くのも今は困難。  
郵送戴ければとも考えている
- A 八尾 (中路氏) : 会の機関誌を送るときに労山ニュースも合わせて送っている。なるべく早く発行して欲しい。3月号は未だに発行されていない。理由を教えてください。
- A 高橋理事長 : 3月号は総会準備で手が回らなかった。紙媒体は最低位部数にして欲しい。月1回は取りに来て欲しい。このままだと機関誌発行ができ無くなる。
- A 志峰会 (中尾氏) : コロナ禍で動けない中で会員のつながりとして、会報を毎月4ページで発行している。大阪労山のつながりとして大阪労山ニュースの発行をして欲しい。いつ発行したかを連絡戴ければ連盟事務所に取りに行く。
- 
- A 大西常任 : 紙媒体は重要と考え、今後も pdf と紙媒体両方で行きたい。3月号は発行できない。4月から毎月発行していく
- Q 安治川 (入澤氏) : 今まで編集委員で発行したが集まる事をやめて、コロナで高橋理事長に全て任せている。余りにもコロナにビビりすぎているのでは? 1人に任すのではなく、編集員全員で発行していくべきだ。取りに来てない会も多い。連盟の情報を会員につたえて行くことが組織として重要であると考えて欲しい。
- A 高橋理事長 : 4月号から編集委員で集まって発行していきます。
- 
- Q 八尾 (中路さん) : 里山調査に八尾山の会8名も参加していることを報告します。
- A こもれび (佐々木氏) : 4月の第2日曜日に里山調査が計画されている。皆さんも是非参加して下さい。
- 
- C 大見事務局長 : 4月10日に大阪岳連がダイトレを開催する。
- 
- C こもれび (佐々木氏) : 原発関西訴訟も支援していきたい。今年はコロナで裁判所も人数制限している。11年たっても人は戻っていないので、復興したとは言えない。
- 
- Q こもれび (佐々木氏) : 事故事例集など取り組みについて
- A 大見常任 : 勉強会3回目を計画。5月以降各県での取り組みについて議論を深めたい。
- Q 安治川 (入澤氏) : 事故対策会議について説明して下さい
- A 大見常任 : 夏に向けて沢の事故について事例を共有する。
- Q 大見常任 : 各会でのリーダ育成など各会の悩みを提案して欲しい
- A 吹田 (佐伯氏) : 平均70歳。後進指導に二の足を踏んでいる。47歳が入ってくれても教育ができない。地図読み勉強会など府連におすすがりたい。
- A 大見常任 : 独自の教育ができないなら、複数の会と合同して山の教室を使って、

新人教育できないか提案する。次期リーダー養成として初級登山学校もニーズがあれば開校を検討していきたい。

A 八尾（中路氏）：新人には女性のための登山教室を紹介している

Q こもれば（佐々木氏）：近プロ搬出講習会は、ハイカー向けは無いのか？

A 松本隊長：2年中止していたが4月3日に開催する予定。ただしコロナ禍で体を密着させる可能性があるハイカー向けは、今年も中止する。

#### 資格審査委員から報告

代議員 64 名中 36 委任状 Zoom2 名 25 名出席 63 名の出席となり、本総会は成立していることを報告

#### 議決

1 号議案 全会一致

2 号議案（決算） 全会一致

3 号議案（予算） 全会一致

役員信任投票 全会一致

新任役員紹介（大見常任）：女性委員会 榎本さん 本日は欠席

3 役紹介（高橋理事長）

代表あいさつ（山下常任）：代表して

退任される、石野さん、近藤さん、砺波さん 長い間ご苦勞様でした。

これからコロナなど大変でしょうが初心に返り皆様のご協力を得て、連盟の発展会員拡大に努めていきます。

#### 退任代表挨拶

石野さん：会計として7年努めました。園さんが常任理事を辞めて私が最高年齢でした。長い間ありがとうございました。

#### 議長団解任

永年功勞賞授与 高橋理事長から たつこの安倉さん代表として授与。

来年議長推薦（大見常任） テルル 泉州労山

閉会あいさつ 園会長：

会員拡大の議論が進んだ。明るく進めて行きたい

会計できる方を各会から推薦して戴きたい

以上